



社会を明るくする運動

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

本年も7月1日から1か月間、法務省主唱のもとに第67回「社会を明るくする運動」が全国一斉に展開されます。「社会を明るくする運動」は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全・安心な地域社会を築くための運動で、次の目標をもとに活動を推進します。

行動目標

- ① 犯罪や非行のない安全・安心な地域社会を築くための取り組みを進めよう
- ② 犯罪や非行をした人たちの立ち直りを支えよう

重点事項

- 平成26年12月16日犯罪対策閣僚会議決定「宣言：犯罪に戻らない・戻さない」を踏まえ、犯罪や非行をした人たちを社会から排除・孤立させるのではなく、再び受け入れることが自然にできる社会にするため
- ① 出所者などの事情を理解した上で雇用する企業の数を増やすこと。
 - ② 帰るべき場所がないまま、刑務所から社会に戻る人の数を減らすこと。
 - ③ 薬物依存からの回復と社会復帰を長期的に支える地域の環境を作ること。
 - ④ 犯罪をした高齢者・障害者などが、社会復帰に必要な支援を受けられる環境を作ること。
- を重点事項とする。



刑務所作業製品展示即売会

高幡保護区保護司会では「社会を明るくする運動」の一環として刑務所作業製品展示即売会を2年に一度開催しています。今回もタンスやテーブルなどの木工製品、靴やバックなどの革製品、バーベキューセットなど多数の商品を展示即売しますので、ぜひご来場ください。



日時 8月6日(日) 午前9時から午後2時まで

場所 四万十町農村環境改善センター

〔お問い合わせ先〕
高幡保護区保護司会 ☎22-1313

マモルと博士の防災教室

第56回 家庭内備蓄③

みなさん、こんにちは。「防災マモル」です。今日も一緒に防災について考えてみよう！



マモルくん、水の備蓄はしてあるか？

一人3リットルを備蓄しているよ！でも3リットルで足りるのかな？



実は1日に、一人240リットルもの水を使っているといわれているのじゃ。飲み水や、調理に使う水、入浴や洗濯、トイレを流す水…など、水はとにかくたくさん使っているのじゃ。



そんなに使うのに3リットルで足りるのかな？



お風呂には入れないし、洗濯もできないので、使う水の量は減るが、それでも水があればあるほど良い！飲み水はペットボトルなどにためておくのが一番じゃが、生活用水なら、こんなものにもためておけるのじゃ！



お風呂

200～300リットル



ポリタンク

18～20リットル



洗濯機

30～50リットル



バケツ

5～18リットル



お風呂だったらたくさんためれるし、おいておきやすいね！



ただ、マモルくんの家のように小さい子どもがいる家庭では、事故が起きてしまうかもしれないので、注意が必要なのじゃ。貴重な飲み水を生活用水に使うことがないように、日頃からためておくことが必要なのじゃ！



防災講演会のお知らせなのじゃ！

日時 7月30日(日) 午前9時から正午(予定)

みんな、ぜひ来てね！！

場所 四万十町農村環境改善センター

内容 一部…防災気象講演会(高知地方気象台長 出宮 稔氏)
二部…命を守るために必要なこと・東日本大震災、熊本地震から見てきたもの(福島大学つくしまふくしま未来支援センター特任教授 天野 和彦 先生)

※講演の内容が一部変更となる場合があります。午後からは家具転倒防止金具取付講習があります。



〔お問い合わせ先〕危機管理課 ☎22-3280 - 来月も2人と一緒に、防災について学んでみよう！